

OFFICIAL MICROSOFT LEARNING PRODUCT

23697-2B

エンタープライズ サービスによる
Windows 10 の展開と管理

このドキュメントに記載されている情報 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、将来予告なしに変更されることがあります。別途記載されていない場合、このドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものであります。実在する会社名、団体名、商品名、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、個人名、場所、出来事などとは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用をお願いします。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントの主題を対象とする特許、特許出願、商標、著作権、またはその他の知的所有権を有する場合があります。マイクロソフトからの書面による使用許諾契約に明示的に記載されていない限り、このドキュメントの提供により、これらの特許、商標、著作権、またはその他の知的所有権に対する使用許諾が付与されるものではありません。

記載されている製造元、製品、または URL は情報提供のみを目的としており、明示、黙示または法律の規定にかかわらず、マイクロソフトはこれらの製造元や、これらの製品をマイクロソフト テクノロジーと共に使用した場合の動作について保証を行うものではありません。製造元または製品に関する記載は、マイクロソフトがその製造元または製品を保証していることを意味するものではありません。このドキュメントには、第三者のサイトへのリンクが含まれている場合があります。リンク先のサイトはマイクロソフトが管理するものではなく、したがって、リンク先のサイトの内容、含まれるリンク、およびそのサイトの変更や更新について、マイクロソフトは責任を負うものではありません。また、リンク先のサイトから受信する Web キャストまたはその他の伝送形式についても、責任を負うものではありません。これらのリンクは、お客様の利便性を考慮して提供されているものであり、マイクロソフトがリンク先のサイトやそのサイトに含まれている製品を保証していることを意味するものではありません。

© 2016 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft および <http://www.microsoft.com/about/legal/en/us/IntellectualProperty/Trademarks/EN-US.aspx> に一覧する商標は、Microsoft 企業グループの商標です。その他の商標は各所有者の知的財産です。

製品番号 : 23697-2B

部品番号 : X20-97475

リリース日 : 4/2016

以下のマイクロソフト ソフトウェアに含まれる仮想環境に関するマイクロソフト ライセンス条項

MICROSOFT® ハードウェア デバイス

MICROSOFT DESKTOP OPTIMIZATION PACK 管理用テンプレート

MICROSOFT DESKTOP OPTIMIZATION PACK

MICROSOFT DEPLOYMENT TOOLKIT 2013 更新プログラム 1

MICROSOFT リモート デスクトップ接続マネージャー

MICROSOFT SILVERLIGHT 5

WINDOWS 10 用 MICROSOFT WINDOWS アセスメント & デプロイメント キット (ADK)

MICROSOFT WINDOWS HARDWARE LAB KIT (HLK) FOR WINDOWS 10

MICROSOFT WINDOWS DRIVER KIT (WDK) FOR WINDOWS 10

WINDOWS オペレーティング システム

MICROSOFT WINDOWS オペレーティング システム ソフトウェア用グループ ポリシー ADMX ファイル

MICROSOFT XML NOTEPAD 2007

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下、「本ライセンス条項」といいます) は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地に応じた関連会社。以下、「マイクロソフト」といいます) との契約を構成します。以下のライセンス条項をお読みください。本ライセンス条項は、お客様による上記の個々のマイクロソフト ソフトウェア タイトルを始め、仮想環境の一部として提供されるすべてのドキュメント、コンテンツ、クラスルーム セットアップ ガイド、関連ファイルおよび構成ファイル、オンライン サービス、サンプル アプリケーション、ならびにこれらが記録されたメディア (以下、総称して「仮想環境」といいます) に適用されます。仮想環境コンポーネントに関連する更新プログラム、追加ソフトウェア、インターネット ベースのサービス、およびサポート サービスにも、本ライセンス条項が適用されます。

仮想環境用のマイクロソフト ソフトウェアの仮想ハード ディスク イメージは、1 つ以上の仮想ハード ディスク上でお客様に提供される場合があります。上記の個々のソフトウェア タイトルは通常、別々にライセンスされますが、お客様には便宜のために本統合ライセンス条項に基づいて提供されます。

以下の記載のとおり、仮想環境を使用することにより、ライセンス認証または検証の間、およびインターネット ベースのサービスのために、特定のコンピューター情報を送信することにもお客様が同意されたものとします。

仮想環境の任意の部分にアクセスすることにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合は、仮想環境コンポーネントにアクセスしたり、当該コンポーネントを使用したりしないでください。

仮想環境を使用する、または仮想環境にアクセスできるようにするお客様の権利は、特定の期間内に限定されます。詳細については、第 8 条をご覧ください。

お客様が本ライセンス条項を遵守し、仮想環境の有効なライセンスを取得していることを条件として、お客様には以下が許諾されます。

1. 定義。

- 1.1. 「認定ラーニング センター」とは、ラーニング パートナー、マイクロソフト IT Academy プログラム メンバー、またはマイクロソフトが書面をもって指名できるその他同様の法人を意味します。
- 1.2. 「認定トレーニング セッション」とは、認定ラーニング センターのためにそのトレーニング施設で MCT が実施する、マイクロソフト認定インストラクターがマイクロソフト コースを指導するトレーニング クラスを意味します。
- 1.3. 「クラスルーム デバイス」とは、認定ラーニング センターが所有または管理する、認定トレーニング セッションが行われる認定ラーニング センターのトレーニング施設にある専用のパーソナル コンピューターで、特定のマイクロソフト コース タイトルに指定されているハードウェア レベルを満たすか、または超えているものを意味します。

- 1.4. 「**エンド ユーザー**」とは、認定トレーニング セッションに正規に登録し出席している個人を意味します。
- 1.5. 「**ラーニング パートナー**」とは、現在ラーニング コンピテンシーを保有および保持している、Microsoft Partner Network プログラムの有効なアクティブ メンバーを意味します。
- 1.6. 「**MCT**」または「**マイクロソフト認定トレーナー**」とは、(i) 認定トレーニング セッションを指導するために認定ラーニング センターに雇用されており、(ii) マイクロソフト認定資格プログラムに基づいてマイクロソフト認定トレーナーとして現在有効に認定されている、(iii) 認定トレーニング セッションの主題であるテクノロジーにおいてマイクロソフト認定資格を現在保持している個人を意味します。
- 1.7. 「**マイクロソフト コース**」とは、個人を対象としてマイクロソフト テクノロジーについて指導する、マイクロソフトからライセンスされているマイクロソフト ブランドのインストラクター指導トレーニング コースの受講生キット バージョンを意味します。マイクロソフト コースのタイトルは、マイクロソフト オフィシャル コース、Microsoft Dynamics、またはマイクロソフト ビジネス グループ コースウェアとしてブランド化されている場合があります。
- 1.8. 「**マイクロソフト IT Academy プログラム メンバー**」とは、マイクロソフト IT Academy プログラムのアクティブ メンバーである教育機関を意味します。
- 1.9. 「**お客様**」とは、本ライセンスに基づいて権利を行使するラーニング パートナーまたは MCT を意味します。

2. インストールおよび使用に関する権利。

- 2.1. その他のマイクロソフト ライセンス条項に優先すること。本ライセンス条項の条件は、仮想環境ソフトウェアのインストールまたは使用に際し、他のライセンス条項への「同意」が必要な場合であっても、当該ソフトウェアにかかわるすべてのマイクロソフト ライセンス条項の条件に優先して適用されます。
- 2.2. 限定された使用権。仮想環境は使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。仮想環境は、その仮想環境に関連するマイクロソフト コース タイトルと共にのみ使用することができます。したがって、お客様は、仮想環境にアクセスするエンド ユーザーごとに、その仮想環境に関連するマイクロソフト コース タイトルのライセンスを購入し、マイクロソフト コース タイトルの有効なライセンス取得済みの複製を各エンド ユーザーに提供しなければなりません。以下は 2 組の独立した使用権であり、お客様には 1 組のみが適用されます。
 - a. **お客様が自身が提供している各認定トレーニング セッションのラーニング パートナーの場合**、お客様には以下が許諾されます。
 - i. お客様の認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト コース タイトルのクラスルーム セットアップ ガイドに記載されている仮想環境コンポーネントのみをダウンロードし、Microsoft Hyper-V の有効なライセンス取得済みの複製を実行している 1 台のホスト クラスルーム デバイスにインストールして、マイクロソフト コースに関連する仮想環境を構築できます。
 - ii. 次のいずれかが許諾されます。
 1. 認定トレーニング セッションが行われているお客様の認定ラーニング センターのトレーニング施設にある 1 台の内部サーバーに仮想環境をインストールできます。または
 2. 仮想環境をインストールしているクラスルーム デバイスの数が特定の認定トレーニング セッションに登録されているエンド ユーザーの数を超過しなければ、仮想環境を複製し、Microsoft Hyper-V の有効なライセンス取得済みの複製を実行しているお客様の 1 台のクラスルーム デバイスに仮想環境のインスタンスを 1 つインストールできます。
 - iii. 以下の者に限り、クラスルーム デバイスを介してのみ仮想環境にアクセスして使用することを許可できます。
 1. マイクロソフト コースのハンズオン体験を行うためにのみ、お客様の認定トレーニング セッションに参加している期間中だけ、仮想環境に関連するマイクロソフト コース タイトルの有効なライセンスを購入している 1 名のエンド ユーザー。
 2. お客様の認定トレーニング セッションの準備と指導を行う MCT。

- b. お客様が自身が指導している各認定トレーニング セッションの MCT の場合、お客様には以下が許諾されます。
- i. 認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト コース タイトルのクラスルーム セットアップ ガイドに記載されている仮想環境コンポーネントのみをダウンロードし、Microsoft Hyper-V の有効なライセンス取得済みの複製を実行している 1 台のホスト クラスルーム デバイスにインストールして、マイクロソフト コースに関連する仮想環境を構築できます。
 - ii. 次のいずれかが許諾されます。
 - 1. 認定トレーニング セッションが行われている認定ラーニング センターのトレーニング施設にある 1 台の内部サーバーに仮想環境コンポーネントをインストールできます。または
 - 2. 仮想環境をインストールしているクラスルーム デバイスの数が特定の認定トレーニング セッションに登録されているエンド ユーザーの数を超過しなければ、仮想環境コンポーネントのインスタンス 1 つを複製し、Microsoft Hyper-V の有効なライセンス取得済みの複製を実行しているクラスルーム デバイスにインストールできます。
 - iii. 仮想環境のインスタンス 1 つを複製し、Microsoft Hyper-V の有効なライセンス取得済みの複製を実行しているお客様が所有する 1 台のパーソナル コンピューターにインストールできます。これはお客様が認定トレーニング セッションの指導準備を行う目的でのみ許諾されます。
- 2.3. その他の権利はないこと。 スタンドアロン ベースで仮想環境にアクセスしたり仮想環境を使用したりすることはできません。仮想環境は、その仮想環境に関連するマイクロソフト コースを指導する認定トレーニング セッションと共にのみアクセスまたは使用することができます。本ライセンス条項に基づいてお客様にライセンスされる仮想環境は、実際の運用環境または本番環境で使用できません。仮想環境またはそのコンポーネントを頒布、公に展示、または実行する権利は与えられません。
- 2.4. 構成部分の分離。 マイクロソフト コース タイトルの仮想環境には、複数のメディアまたは複数のダウンロードでお客様に提供されることがある、さまざまなソフトウェア タイトル、コンテンツ、およびその他のコンポーネントが含まれている場合があります。仮想環境は、第 2.2 条の規定のとおり、単一の使用対象製品としてお客様に提供およびライセンスされています。お客様は仮想環境コンポーネントを分離し、複数のデバイスまたはサーバーにインストールすることはできません。
- 2.5. ネットワーク アクセスがないこと。 お客様は、マイクロソフトがマイクロソフト コースの関連するクラスルーム セットアップ ガイドに明記して明示的に許可していない限り、他のネットワークにアクセスできるクラスルーム デバイスまたはサーバーに仮想環境をインストールすることはできません。
- 2.6. 仮想環境におけるマイクロソフト ソフトウェアの仮想ハード ディスク イメージの複製/再頒布。 お客様は以下を認め、同意するものとします。
- a. 仮想環境には、マイクロソフト ソフトウェアの仮想ハード ディスク イメージが含まれます。
 - b. 本ライセンス条項に基づいてお客様に提供されるマイクロソフト ソフトウェアはマイクロソフトの貴重な資産であり、かかるソフトウェアを許可なく複製し、頒布すると、マイクロソフトがかかるマイクロソフト ソフトウェアのライセンス供与から通常回収する収益をマイクロソフトから奪うことになります。
 - c. マイクロソフトは、本ライセンス条項に記載のとおり、マイクロソフト テクノロジーを利用してエンド ユーザーの技能習得を支援する目的でのみ、お客様にマイクロソフト ソフトウェアを無料で提供します。
 - d. お客様は、本ソフトウェアのいかなる部分も販売、レンタル、リース、貸与、移管、譲渡、またはサブライセンスできません。
 - e. お客様は、本ライセンスまたは本ライセンス条項をいかなる第三者にもサブライセンス、移管、または譲渡できません。
- 2.7. 第三者のソフトウェア。 仮想環境には、第三者ではなく、本ライセンス条項に基づきマイクロソフトにより使用を許諾された第三者のコードが含まれていることがあります。第三者のコードの注意事項がある場合は、お客様への参考情報としてのみ含まれます。

- 2.8. **オンライン サービス。**マイクロソフトがマイクロソフト コースの一部としてオンライン サービス（以下「**オンライン サービス**」といいます）をお客様に提供する場合、お客様によるオンライン サービスの使用には、本条、およびお客様に別途提示されるオンライン サービス契約の本ライセンス条項と矛盾しない条項が適用されます。マイクロソフト コース中にオンライン サービスを使用する場合、お客様は (a) 仮想環境に関連するマイクロソフト コース タイトルのハンズオン体験を行うためにのみオンライン サービスを使用できること、(b) お客様（またはお客様のエンド ユーザー）がオンライン サービスにアクセスするために使用する認証資格情報をどの「有効な」アカウントにも関連付けないこと、(c) お客様がオンライン サービスを使用してアップロード、処理、または保存するすべてのテキスト、音声、画像、またはファイル（以下「データ」といいます）を使用および処理するために必要なすべての権利をマイクロソフト、その関連会社、および必要なすべてのサブライセンシーに許諾すること、(d) お客様がオンライン サービスで個人情報を含むデータを入力、アップロード、処理、または保存したり、エンド ユーザーに当該行為を許可したりしないこと、(e) エンド ユーザーの個人用デバイスでオンライン サービスを使用したり、オンライン サービスに登録したりしないこと、(f) マイクロソフトがお客様への責任を負うことなく、通知なしにいつでもデータを削除できること、ならびに (g) マイクロソフトがオンライン サービスのサポート サービスを一切提供しないことに同意するものとします。

3. 追加のライセンス条件および追加の使用権。

- 3.1 お客様は、本ライセンス条項の契約条件と次のセキュリティ要件に準拠する場合にのみ、仮想環境を使用することができます。

- a. お客様は、予定されている認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト コース タイトルのクラスルーム セットアップ ガイドに仮想環境コンポーネントとして記載されているコンポーネントに限り、アクセス、インストール、および使用することができます。また、仮想環境に関連するマイクロソフト コース タイトルを指導する認定トレーニング セッションを提供または指導する目的に限り、仮想環境を使用することができます。
- b. お客様は、仮想環境を構築するために、本ライセンス条項に付属するソフトウェアの仮想ハードディスク イメージのみを使用することができます。
- c. お客様は、お客様が予定している認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト コース タイトルのクラスルーム セットアップ ガイドに従って、仮想環境を構築およびセットアップしなければなりません。お客様は、マイクロソフトがマイクロソフト コース タイトルの関連するクラスルーム セットアップ ガイドに記載して明示的に許可していない限り、お客様または第三者のコンテンツまたはソフトウェアを仮想環境に含めたり、使用したりすることはできません。
- d. お客様は、マイクロソフトがマイクロソフト コース タイトルの関連するクラスルーム セットアップ ガイドに記載して明示的に許可していない限り、他のネットワークにアクセスできるクラスルーム デバイスまたはサーバーに仮想環境をインストールすることはできません。
- e. 認定トレーニング セッションの開始前に、お客様はすべてのエンド ユーザーに次の声明の印刷された複製を提供しなければなりません。

何らかの方法で仮想環境にアクセスして仮想環境を使用することで、お客様は (a) このトレーニング セッションのハンズオン体験を行う目的に限り、このクラスルーム デバイスからのみ仮想環境にアクセスして仮想環境を使用できること、(b) 仮想環境の技術的な制限を回避して使用できないこと、(c) マイクロソフトの書面による事前の許可なく、いかなる形態または手段によっても、ソフトウェアまたは仮想環境コンポーネントをダウンロード、複製、送信、または転送できないこと、(d) 仮想環境で個人情報を入力、アップロード、処理、または保存できないこと、(e) この仮想環境の使用またはアクセスを第三者に許可できないこと、および (f) 本ライセンス条項が、仮想環境コンポーネントのインストールまたは使用に際し、他のライセンス条項への「同意」が必要な場合であっても、当該コンポーネントにかかわるすべてのマイクロソフト ライセンス条項の条件に優先して適用されることを認め、同意するものとします。仮想環境を使用することにより、お客様は以下の条項を遵守することに同意するものとします。この条項に同意されない場合、仮想環境を使用することはできません。

この仮想環境は、現状有姿でお客様に提供されます。マイクロソフトは、明示的または暗黙的を問わず、一切の保証を負いません。

- f. お客様は、上記の第 3.1 条 e 項の声明を遵守することに同意したエンド ユーザーにのみ、仮想環境へのアクセスと使用を許可することができます。
 - g. 各認定トレーニング セッションの開始前に、お客様は、かかる認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト コース タイトルの有効なライセンス取得済みの複製を各エンド ユーザーに提供する必要があります。
 - h. お客様は、仮想環境へのアクセス、仮想環境の転送、複製、またはダウンロードを他者に許可することはできません。
 - i. お客様は、仮想環境のインストール、ライセンス認証、使用、ライセンス認証解除、およびセキュリティに関するマイクロソフトのすべての指示を厳密に遵守する必要があります。
 - j. お客様は、マイクロソフトがマイクロソフト コース タイトルの関連するクラスルーム セットアップ ガイドに記載して明示的に許可していない限り、仮想環境またはそのコンポーネントを改変することはできません。
 - k. お客様がラーニング パートナーの場合、認定トレーニング セッションの終了時にお客様の内部サーバーおよびクラスルーム デバイスすべてから仮想環境のあらゆる複製を削除しなければなりません。
 - l. お客様が MCT の場合、認定トレーニング セッションの終了時に (1) お客様個人のコンピューターならびに (2) お客様が仮想環境をインストールしたラーニング パートナーの内部サーバーおよびクラスルーム デバイスすべてから仮想環境のあらゆる複製を削除しなければなりません。
- 3.2 仮想環境にライセンス認証されていないオペレーティング システム ソフトウェアが含まれる場合、ソフトウェアを仮想環境用に構成する前に、マイクロソフトからプロダクト キーを取得し、そのソフトウェアのライセンス認証を行う必要があります。マイクロソフト プロダクト キーを入手する方法および当該プロダクト キーを使用してソフトウェアのライセンス認証を行う方法に関する具体的な手順は、マイクロソフト コース タイトルのクラスルーム セットアップ ガイドに記載されています。割り当てられたプロダクト キーの使用に関する責任は、お客様が負うものとします。お客様は、お客様のプロダクト キーを第三者と共有したり、第三者に割り当てられたプロダクト キーを使用したりすることはできません。
- ライセンス認証により、ソフトウェアの使用が特定のデバイスに関連付けられます。ライセンス認証中、本ソフトウェアにより本ソフトウェアおよび当該デバイスに関する情報がマイクロソフトに送信されます。この情報には、本ソフトウェアのバージョン、言語、プロダクト キーのほか、デバイスのインターネット プロトコル (IP) アドレス、および、デバイスのハードウェア構成に関する情報が含まれます。本ソフトウェアを使用することにより、お客様はこうした情報の送信に同意されたものとします。正式にライセンスを取得している場合、お客様は、ライセンス認証が認められている期間中は、インストール プロセスにおいてインストールされた本ソフトウェアのバージョンを使用する権利を有します。本ソフトウェアがライセンス認証されていない場合、お客様は、**ライセンス認証が認められた期間の終了後に本ソフトウェアを使用する権利を有しません**。これは、不正使用を防止するための措置です。**ライセンス認証を無視または回避することは、禁止されています**。デバイスがインターネットに接続されている場合、本ソフトウェアはライセンス認証を行うためにマイクロソフトへ自動的に接続されます。本ソフトウェアのライセンス認証は、インターネットまたは電話により、手動で行うこともできます。その場合、インターネットおよび電話の通信料金が発生することがあります。お客様がコンピューターのハードウェア構成を変更した場合や、本ソフトウェアの設定を変更した場合には、本ソフトウェアのライセンス認証を再度行う必要が生じることがあります。本ソフトウェアは、**ライセンス認証が実行されるまで、ライセンス認証が必要なことをお知らせします**。
- 3.3 仮想環境にプロダクト キーなしで使用できるオペレーティング システム ソフトウェアが含まれる場合、お客様は、仮想環境に当該ソフトウェアをインストールした後にそのオペレーティング システムの状態を確認する必要があります。オペレーティング システムが「通知」モードである場合、お客様は、認定トレーニング セッションの前に当該ソフトウェアに対して re-arm コマンドを実行し、オペレーティング システムの状態を変更しなければなりません。

- 4. インターネット ベースのサービス。**マイクロソフトは、仮想環境のソフトウェアについてインターネットベースのサービスを提供することがあります。マイクロソフトは、いつでもこのサービスを変更または中止できるものとします。仮想環境にソフトウェアのプレリリース版が含まれる場合、そのインターネットベースのサービスの一部が既定で有効になっていることがあります。本ソフトウェアのこれらのバージョンにおける既定の設定は、製品版における機能の構成方法には必ずしも反映されません。ただし、インターネットを介した送信を行うように本ソフトウェアを構成する場合、次の条項が適用されます。
- a. インターネット ベースのサービスに関する同意。本ソフトウェアのなかには、インターネットを介してマイクロソフトまたはサービス プロバイダーのコンピューター システムに接続する機能が含まれていることがあります。接続が行われた際、通知が行われない場合があります。お客様は、場合によって、これらの機能を解除するか、または使用しないことができます。これらの機能を使用することで、お客様はかかる情報の送信に同意し、かかる情報をマイクロソフトに送信するすべてのエンド ユーザーから必要なすべての同意を得ることに對して責任を負うものとします。マイクロソフトがこれらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。
 - b. コンピューター情報。インターネット ベースのサービスとして知られる機能ではインターネット プロトコルを使用しており、お客様のインターネット プロトコル (IP) アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、本ソフトウェアを実行するデバイスの言語コードなどのコンピューター情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネット ベースのサービスを提供するためにこの情報を使用します。
 - c. 情報の使用。マイクロソフトは、ソフトウェア製品やサービスの改善のために、情報および報告を利用する場合があります。また、ハードウェア ベンダーやソフトウェア ベンダーなど、他の企業と情報を共有する場合があります。これらの第三者は、マイクロソフト製ソフトウェアと連携して動作する自社製品の改良のため、この情報を使用することがあります。
 - d. インターネット ベース サービスの不正使用。お客様は、これらのサービスに損害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるこれらのサービスの使用を妨げる可能性のある方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不正アクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁じられています。
- 5. ライセンスの適用範囲。**仮想環境は使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項は、お客様に仮想環境を使用する限定的な権利を付与します。マイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用される法令によりこの制限を超える権利が与えられる場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可される方法でのみ仮想環境を使用できます。そのため、お客様は、使用方法を制限するために仮想環境コンポーネントに組み込まれている技術的制限に従わなければなりません。お客様は、以下を行うことも、以下を行うことを他者に許可することもできません。
- a. 認定トレーニング セッションに参加しているエンド ユーザーの数を超える仮想環境の複製を作成したり、クラスルーム デバイスにインストールしたりすること。
 - b. 認定トレーニング セッションに参加しているエンド ユーザーの数を超えるクラスルーム デバイスにサーバー上の仮想環境へのアクセスを許可すること。
 - c. 仮想環境にアクセスしたり、仮想環境を使用したりすることを他者に許可すること。ただし、仮想環境に関連するマイクロソフト コース タイトルを指導する認定トレーニング セッションに参加している期間中だけ、認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト コース タイトルの有効なライセンスを購入しているエンド ユーザーに許可する場合を除きます。
 - d. 仮想環境を送信、公開、リンク設定、投稿、公に展示、または転送すること。また、その他の許可されていない方法または違法な方法で仮想環境を使用すること。
 - e. 仮想環境の複製、使用、ダウンロード、アクセス権提供、または頒布を行うこと。ただし、本ライセンス条項で明示的に許諾されている場合を除きます。
 - f. 仮想環境をレンタル、販売、リース、または貸与すること。また、仮想環境をサーバー、またはさらなる複製もしくはアクセスのための場所に複製すること。ただし、本ライセンス条項で明示的に許諾されている場合を除きます。

- g. (i) 商用ソフトウェア ホスティング サービス、(ii) 一般的なビジネス目的、または (iii) 本ライセンス条項に基づいてマイクロソフトがお客様に明示的に許可していない目的のために、仮想環境にアクセスしたり使用したりすること。
- h. 仮想環境に基づく派生作品にコンテンツまたはソフトウェアを追加すること。また、かかる派生作品を変更、改変、改造、編集、またはその他の方法で作成すること。
- i. 別のオペレーティング システム、または別のオペレーティング システムで実行されているアプリケーション内で仮想環境を使用すること。
- j. 仮想環境の技術的な制限を回避する方法で使用する。
- k. 何らかの方法で仮想環境をリバース エンジニアリング、逆コンパイル、カスタマイズ、または逆アセンブルすること。

任意のデバイス上の仮想環境にアクセスする権利は、仮想環境、およびその仮想環境にアクセスするデバイスにおいてマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利を、お客様に付与するものではありません。

- 6. 権利および所有権の留保。**マイクロソフトおよびそのサプライヤーは、仮想環境およびそのコンポーネントに関する権原、著作権、およびその他の知的財産権をすべて留保します。

- 7. ソフトウェアの使用期限。**仮想環境の一部のソフトウェアは、最初の起動後、マイクロソフト コースのクラスルーム セットアップ ガイドで当該ソフトウェアについて記載されている日付に動作を停止する場合があります。その場合、それ以外の通知は表示されません。お客様は、仮想環境で re-arm コマンドを使用し、動作期間を追加するようにソフトウェアをリセットできる場合があります。起動ごとに本ソフトウェアが動作する日数と re-arm コマンドを実行できる回数はさまざまです。詳しくはマイクロソフト コースのクラスルーム セットアップ ガイドに記載されています。

お客様は、仮想環境のいずれかのソフトウェアが動作を停止し、re-arm コマンドを利用可能な回数を使い切った場合、仮想環境へのあらゆるアクセスと使用を中止しなければなりません。ソフトウェアが実行を停止した後に仮想環境にアクセスし、使用したり、仮想環境からデータを取得したりすることはできません。

- 8. 期間および契約解除。**本契約は (a) クラスルーム セットアップ ガイドに記載されているソフトウェアの最も早い満了日、および re-arm コマンドの利用可能な回数を使い切った日、(b) マイクロソフトが本契約を解除した日、(c) (i) お客様がラーニング パートナーの場合、Microsoft Partner Network プログラムでのお客様のラーニング コンピテンシー ステータスの満了日もしくは解除日、(ii) お客様が MCT の場合、MCT としてのステータスの解除日もしくは満了日、または (d) 仮想環境に含まれるプレリリース ソフトウェアの最も早いベータ期間の終了日のうちの最も早い日をもって自動的にかつ直ちに終了します。

マイクロソフトは、お客様が本ライセンス条項のいずれかの契約条件を遵守しなかったと確信できる理由がある場合、本契約を直ちに解除できます。

何らかの理由による本契約の解除をもって、本契約に基づいてお客様に与えられるすべての権利が直ちに終了します。お客様は仮想環境へのすべてのアクセスおよび使用を直ちに中止し、お客様が所有または管理する仮想環境およびそのコンポーネントのすべての複製を永久的に削除および破棄しなければなりません。

- 9. フィードバック。**お客様は、マイクロソフトに対して仮想環境に関するフィードバックを提供する場合、その方法や目的を問わず、お客様のフィードバックを使用、共有、および商品化する権利を無償でマイクロソフトに譲渡するものとします。また、お客様はフィードバックを含むマイクロソフトのソフトウェアもしくはサービスの特定部分を使用またはその特定部分と連携する第三者の製品、技術、およびサービスに必要なすべての特許権を無償でそれらの第三者に譲渡するものとします。お客様は、マイクロソフトがお客様のフィードバックをソフトウェア、製品、テクノロジー、サービス、またはドキュメントに取り込んだために、マイクロソフトが第三者からソフトウェア、製品、テクノロジー、サービス、またはドキュメントのライセンスを取得しなければならないようなフィードバックを提供しないものとします。これらの権利は本ライセンス条項の終了後も効力を維持するものとします。

10. 輸出規制。仮想環境のソフトウェアは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法（輸出対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます）を遵守しなければなりません。詳細については www.microsoft.com/japan/exporting をご覧ください。

11. サポート サービス。仮想環境は現状有姿で提供されるため、マイクロソフトはサポート サービスを提供しない場合があります。

12. 完全合意。本ライセンス条項およびお客様が使用する追加ソフトウェア、更新プログラム、インターネット ベースのサービス、オンライン サービス（該当する場合）ならびにサポート サービスに関する条件は、仮想環境およびサポート サービスについてのお客様とマイクロソフトとの間の完全なる合意です。

13. 準拠法。

- a. 米国。お客様が仮想環境コンポーネントを米国内で入手された場合、抵触法にかかわらず、本ライセンス条項の解釈および契約違反への主張は、米国ワシントン州法に準拠するものとします。消費者保護法、公正取引法、および不法行為を含みますがこれに限定されない他の主張については、お客様が所在する地域の法律に準拠します。
- b. 日本および米国以外。お客様が仮想環境コンポーネントを日本国および米国以外の国で入手された場合、本ライセンス条項は適用される地域法に準拠するものとします。

14. 法的効力。本ライセンス条項は、一定の法的な権利を規定します。お客様は、地域や国によっては、本ライセンス条項の定めにかかわらず、本ライセンス条項と異なる権利を有する場合があります。本ライセンス条項は、お客様の地域または国の法律により権利の拡大が認められない限り、それらの権利を変更しないものとします。

15. あらゆる保証の免責。仮想環境、その各コンポーネント、およびオンライン サービスは、現状有姿で提供されます。仮想環境、その各コンポーネント、およびオンライン サービスの使用に伴う危険は、お客様の負担とします。マイクロソフトは、明示的な瑕疵担保責任または保証責任を一切負いません。本ライセンス条項では変更できないお客様の地域の法律による追加の消費者の権利が存在する場合があります。お客様の地域の国内法等によって認められる限り、マイクロソフトは、商品性、特定目的に対する適合性、および侵害の不存在に関する瑕疵担保責任または黙示の保証責任を負いません。

オーストラリア限定。お客様は、オーストラリア消費者法に基づく法定保証を有し、これらの条項は、それらの権利に影響を与えることを意図するものではありません。

16. 救済手段および責任の制限および除外。マイクロソフトおよびそのサプライヤーの責任は、お客様が仮想環境に実際に支払った金額と 5.00 米ドルのいずれか高い額を上限とする直接損害に限定されます。その他の損害（結果的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、および付随的損害を含みますがこれらに限定されません）に関しては、一切責任を負いません。

この制限は、以下に適用されるものとします。

- a. 仮想環境、そのコンポーネント、オンライン サービスおよび第三者のインターネット サイト上のコンテンツ（コードを含みます）、または第三者のプログラムに関連した事項
- b. 契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求（適用される法令により認められている範囲において）

この制限は、マイクロソフトが損害の可能性を認識していたか、または認識し得た場合にも適用されます。また、一部の国では付随的損害および結果的損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。

v. 10.14

バージョン: MSL-20697-2B-2015-11-16

ようこそ

このトレーニングを受講していただき、ありがとうございます。マイクロソフトでは、マイクロソフト認定ラーニング ソリューション パートナーやマイクロソフト IT Academy を通じて、スキルの向上を目指す技術者または IT の仕事に就くための準備を行う学生などに、優れた学習経験を提供しています。

- **マイクロソフト認定トレーナーおよびインストラクター**—講師は、技術および指導の面で継続的な認定要件を満たす専門家です。また、マイクロソフト認定ラーニング ソリューション パートナーでインストラクターがトレーニングを行う場合、インストラクターは年間を通じて受講者およびマイクロソフトによる評価を受けます。
- **認定試験の利点**—トレーニングの後に、マイクロソフト認定試験を受験することをお勧めします。マイクロソフト認定資格は、マイクロソフトの技術に関するスキルを検証します。この資格を持っていると、就職やキャリアアップのときに有利になります。IDC が行った独自の調査によると、管理者の 75% が認定資格はチームの業績に重要であると考えています¹。受験可能なマイクロソフト認定試験と割引対象の試験について、講師にご確認ください。
- **顧客満足の保証**—マイクロソフト認定ラーニング ソリューション パートナーによる満足度の高いプログラムを提供することを保証します。講義の最後に、今日の講義内容について評価を行ってください。皆さんからのフィードバックは貴重です。

すばらしい学習経験が皆さんのキャリアの成功に役立つことを期待します。

よろしくお願いいたします。

Microsoft Learning
www.microsoft.com/learning

Microsoft | Learning

¹IDC、『Value of Certification: Team Certification and Organizational Performance』、2006 年 11 月

謝辞

Microsoft Learning は、コース開発への貢献に対して、次の方々に感謝の意を表します。開発のさまざまな段階における次の方々の努力により、優れた講習を行うことができます。

Damir Dizdarevic - コンテンツ開発者

Damir Dizdarevic 氏は、Microsoft 認定トレーナー (MCT)、Microsoft 認定ソリューション エキスパート (MCSE)、Microsoft 認定テクノロジスペシャリスト (MCTS)、Microsoft 認定 IT プロフェッショナル (MCITP) の資格を有しており、ボスニア ヘルツェゴビナのサラエボにある Logosoft d.o.o 内の研修センターのマネージャーと講師を務めています。また、IT インフラストラクチャとメッセージング プロジェクトのコンサルタントとしても活動しています。Microsoft プラットフォームの経験が 18 年以上あり、Windows Server、Microsoft Exchange Server、セキュリティ、および仮想化を専門としています。Windows Server、Microsoft Exchange Server のトピックに関する数多くの Microsoft Official Courses (MOC) コースには技術顧問として携わり、技術校閲をおこなっています。さらに、Windows IT Pro and INFO Magazine などのさまざまな IT 雑誌に 400 以上の記事を寄稿しています。彼は、東ヨーロッパで開催されるほとんどの Microsoft の会議で講演者を務め、非常に高い評価を得ています。Windows Server においては、7 年連続で Microsoft Most Valuable Professional (MVP) を受賞しています。彼の技術ブログには、<http://dizdarevic.ba/ddamirblog> のリンクからアクセスしてください。

Dave Franklyn - コンテンツ開発者

Dave Franklyn 氏は、Microsoft 認定トレーナー (MCT)、Microsoft 認定ソリューション エキスパート (MCSE)、および Microsoft 認定 IT プロフェッショナル (MCITP) の資格を持ち、Microsoft Most Valuable Professional (MVP) に認定された Windows の技術 IT プロフェッショナルです。アラバマ州、モントゴメリーのオーバーン大学で上級 IT トレーナーおよびコンサルタントとして活躍しています。MyITStudy.com 社の非常勤職員でもあり、米国東部地域の Microsoft 認定講師 (MCT) のリーダーとしても活躍しています。1998 年からオーバーン大学で教鞭をとりつつ、2011 年から Microsoft Most Valuable Professional (MVP) に認定されています。1976 年にコンピューターの仕事を中心にメインフレームからスタートし、早い時期にネットワークの世界に移りました。オーバーン大学に所属するまでは、米国空軍で電子通信とコンピューターの専門家として 22 年間を過ごし、1998 年に退職しました。彼は、Montgomery Windows IT Professional Group の会長でもあり、Microsoft 製品に関する数多くのイベントに講演者として招かれています。

Conan Kezema - コンテンツ開発者

Conan Kezema 氏は、教育学士号、Microsoft 認定ソリューション エキスパート (MCSE)、Microsoft 認定トレーナー (MCT) の資格を持つ、教育者でありコンサルタントです。S.R. Technical Services には技術顧問として共同経営に携わり、教育設計をおこなっています。また、数多くの Microsoft コースウェアの開発プロジェクトを作成しています。

Slavko Kukrika - コンテンツ開発者/技術校閲者

Slavko Kukrika 氏は、18 年以上に渡って MCT として活動してきました。数多くの技術認定資格を有し、Microsoft Most Valuable Professional (MVP) の受賞歴もあります。専門は、Windows オペレーティングシステム、Active Directory ドメイン サービス (AD DS)、および仮想化です。彼は、Windows の内部関係者として、Windows 10 の公開時から携わってきました。技術的な会議にも定期的に参加し、複数の Microsoft Official Courses (MOC) コースを作成しています。プライベートでは、2 人の息子を持ち、1 日を 25 時間以上にする方法の実践を試みています。

Orin Thomas - コンテンツ開発者

Orin Thomas 氏は、Microsoft リージョナル ディレクター、Microsoft Most Valuable Professional (MVP)、および Microsoft 認定講師 (MCT) であり、一連の Microsoft 認定ソリューション エキスパート (MCSE) および Microsoft 認定 IT プロフェッショナル (MCITP) の資格を持ち、Microsoft Press で 30 冊以上の著書を発表し、Windows IT Pro という雑誌に記事を寄稿し、さらに、Microsoft Learning コースウェアと Pluralsight も作成しています。彼は、IT 業界で 1990 年代の初頭から活動しています。オーストラリアの Ignite や、Windows Server、Windows クライアント、Microsoft System Center、クラウド、およびセキュリティのトピックに関する世界中のイベントでの常連の講演者です。仕事の傍ら、チャールズ スタート大学で IT の博士号も取得しました。

Claus Jacob Wordenskjold - コンテンツ開発者

Claus Jacob Wordenskjold 氏は、デンマークに拠点を置いて活動している、独立コンサルタントであり、講師です。1995 年に Chinchilla Data 社を設立し、IT 業界において 25 年以上の経験を有しています。2002 年から Microsoft 認定講師 (MCT) として活動し、欧州各国でトレーニングを開催してきました。専門は、Windows クライアントおよび Windows Server のコースですが、Microsoft SharePoint のトレーニングも時々実施しています。彼は、Windows 2000 以降のすべての Windows オペレーティング システムの認定資格を有しており、Windows Server、AD DS、およびグループ ポリシーに関するコンサルティング サービスを提供しています。また、地元のデンマークで開催される Microsoft のイベントでは講演者を努めており、Windows 関連のコースも作成しています。

目次

第 1 章: エンタープライズ環境でのデスクトップとデバイスの管理

レッスン 1: エンタープライズでの Windows 10 の管理	1-2
レッスン 2: モバイル ワーカーの管理	1-7
レッスン 3: エンタープライズでのデバイスのサポート	1-11
レッスン 4: IT 管理とサービスのクラウドへの拡張	1-15
演習: エンタープライズでの Windows 10 とデバイスの管理計画	1-19

第 2 章: Windows 10 エンタープライズ デスクトップの展開

レッスン 1: Windows 10 エンタープライズ展開の概要	2-2
レッスン 2: エンタープライズ デスクトップ展開のカスタマイズ	2-13
演習 A: Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) ツールによる参照イメージのビルド	2-28
レッスン 3: MDT による Windows 10 の展開	2-35
演習 B: MDT による Windows 10 デスクトップの展開	2-47
レッスン 4: Windows 10 インストールのメンテナンス	2-51
レッスン 5: Windows 10 のボリューム ライセンス認証	2-61
演習 C: Windows ICD による Windows 10 のインストールの管理	2-68

第 3 章: ユーザー プロファイルとユーザー状態の仮想化の管理

レッスン 1: ユーザー プロファイルとユーザー状態の管理	3-3
レッスン 2: グループ ポリシーによるユーザー状態の仮想化の実装	3-12
レッスン 3: UE-V の構成	3-19
演習 A: ユーザー プロファイルとユーザー状態の仮想化の構成	3-32
レッスン 4: ユーザー状態の移行の管理	3-38
演習 B: USMT によるユーザー状態の移行	3-45

第 4 章: グループ ポリシーによるデスクトップとアプリケーション設定の管理

レッスン 1: グループ ポリシー オブジェクトの管理	4-2
レッスン 2: グループ ポリシーによるエンタープライズ デスクトップの構成	4-15
演習 A: グループ ポリシー オブジェクトと設定の構成	4-27
レッスン 3: グループ ポリシーの基本設定の概要	4-32
演習 B: グループ ポリシーの基本設定によるデスクトップ設定の管理	4-39

第 5 章: Windows 10 のサインインと ID の管理

レッスン 1: エンタープライズ ID の概要	5-2
演習 A: Microsoft アカウントとドメイン アカウントの統合	5-11
レッスン 2: クラウド ID 統合の計画	5-14
演習 B: Windows 10 の Azure Active Directory への参加	5-20

第 6 章: Windows ベースのデバイスによるデータ アクセスの管理

レッスン 1: データ アクセス ソリューションの概要	6-2
レッスン 2: デバイス登録の実装	6-6
レッスン 3: ワーク フォルダーの実装	6-11
演習 A: ドメインに参加していないデバイスのデータ アクセスの構成	6-17
レッスン 4: クラウドベースの記憶域ソリューションによる オンライン データの管理	6-21
演習 B: OneDrive によるデータ アクセスの管理	6-26

第 7 章: リモート アクセス ソリューションの管理

レッスン 1: リモート アクセス ソリューションの概要	7-2
レッスン 2: Windows 10 の DirectAccess のサポート	7-8
演習 A: DirectAccess の実装	7-16
レッスン 3: リモート ネットワークへの VPN アクセスの構成	7-21
レッスン 4: RemoteApp のサポート	7-32
演習 B: Microsoft Azure RemoteApp の構成	7-45

第 8 章: エンタープライズ モビリティ ソリューションによる Windows 10 デバイスの管理

レッスン 1: Enterprise Mobility Suite の概要	8-2
レッスン 2: Azure Active Directory Premium の概要	8-6
レッスン 3: Azure RMS の概要	8-13
レッスン 4: Intune の概要	8-19
演習: Microsoft Intune サブスクリプションの実装	8-24

第 9 章: Microsoft Intune によるデスクトップとモバイル クライアントの管理

レッスン 1: Intune クライアント ソフトウェアの展開	9-2
レッスン 2: Microsoft Intune ポリシーの概要	9-10
演習 A: Intune クライアント ソフトウェアのインストールとポリシーの構成	9-15
レッスン 3: Intune によるモバイル デバイス管理	9-19
演習 B: Microsoft Intune によるモバイル デバイスの管理	9-25

第 10 章: Microsoft Intune による更新プログラムと Endpoint Protection の管理

レッスン 1: Intune による更新プログラムの管理	10-2
レッスン 2: Endpoint Protection の管理	10-10
演習: Microsoft Intune による更新プログラムと Endpoint Protection の管理	10-15

第 11 章: Microsoft Intune によるアプリケーションおよびリソースへのアクセス

レッスン 1: Intune によるアプリケーション管理	11-2
レッスン 2: アプリケーション展開プロセス	11-6
演習 A: Microsoft Intune によるアプリケーションの展開	11-11
レッスン 3: 組織のリソースへのアクセスの管理	11-15
演習 B: Intune によるリソースへのアクセスの管理	11-22

第 12 章: クライアント Hyper-V の構成と管理

レッスン 1: クライアント Hyper-V のインストールと構成	12-2
レッスン 2: 仮想スイッチの構成	12-9
レッスン 3: 仮想ハード ディスクの作成と管理	12-13
レッスン 4: 仮想マシンの作成と管理	12-20
演習: クライアント Hyper-V による仮想マシンの構成	12-28

演習の解答のヒント

第 1 章の演習: エンタープライズでの Windows 10 とデバイスの管理の計画	L1-1
第 2 章の演習 A: Windows アセスメント & デプロイメント キット (ADK) ツールによる参照イメージのビルド	L2-3
第 2 章の演習 B: MDT による Windows 10 デスクトップの展開	L2-11
第 2 章の演習 C: Windows ICD による Windows 10 のインストールの管理	L2-15
第 3 章の演習 A: ユーザー プロファイルとユーザー状態の仮想化の構成	L3-19
第 3 章の演習 B: USMT によるユーザー状態の移行	L3-31
第 4 章の演習 A: グループ ポリシー オブジェクトと設定の構成	L4-35
第 4 章の演習 B: グループ ポリシーの基本設定によるデスクトップ設定の管理	L4-41
第 5 章の演習 A: Microsoft アカウントとドメイン アカウントの統合	L5-45
第 5 章の演習 B: Windows 10 の Azure Active Directory への参加	L5-49
第 6 章の演習 A: ドメインに参加していないデバイスのデータ アクセスの構成	L6-53
第 6 章の演習 B: OneDrive によるデータ アクセスの管理	L6-57
第 7 章の演習 A: DirectAccess の実装	L7-61
第 7 章の演習 B: Microsoft Azure RemoteApp の構成	L7-65
第 8 章の演習: Microsoft Intune サブスクリプションの実装	L8-69
第 9 章の演習 A: Intune クライアント ソフトウェアのインストールとポリシーの構成	L9-73
第 9 章の演習 B: Microsoft Intune によるモバイル デバイスの管理	L9-77
第 10 章の演習: Microsoft Intune による更新プログラムと Endpoint Protection の管理	L10-79
第 11 章の演習 A: Microsoft Intune によるアプリケーションの展開	L11-83
第 11 章の演習 B: Intune によるリソースへのアクセスの管理	L11-87
第 12 章の演習: クライアント Hyper-V による仮想マシンの構成	L12-91